

火の山公園デザインコード

2024.03.27

目次

●デザインコードの基本的な考え方	
・デザインコードを適応する各要素	2
・形・色	
・素材の考え方	
●デザインコード	
・建築・工作物	3
・舗装	4
・適用例:舗装	5
・階段	6
・適用例:階段	7
・照明	8
・適用例:照明	9
・柵	10
・適用例:柵	11
・サイン	12
・適用例:サイン(案内誘導)	14
・適用例:サイン(戦跡解説)	15
・その他	16

デザインコードの基本的な考え方

●デザインコードを適応する各要素

本デザインコードの対象とする部位は、人の視線に近く近景として重要な景観形成要素である以下の7点とする。これらは重要な景観要素であるため、複数の部署や、設計者が各エリアに独自に計画選定するのではなく、一定の方針に基づいて計画し統一的な景観整備をめざす。

1. 建築・工作物
2. 舗装
3. 階段(手摺)
4. 照明
5. 柵
6. サイン
7. その他(ベンチ、ポラード、ゴミ箱、自動販売機、カラーコーンなど)

●形・色

・表面的なイメージ(例:火の山、要塞、遺跡)に基づいた造形や色選定は避ける。

・色は可能な限り、その素材特有の色を尊重する。

・今回の計画地においては、その場所を美しく見せることが重要なため、ストリートファニチャー(照明灯具、手摺、柵、サイン、ゴミ箱、ベンチなど)は存在感の少ない造形、色(グレー系)とすることを基本とし、できるだけ背景と同化させる。

●素材の考え方

・適材適所の素材選定を基本とし、表層のみの化粧材の使用は控える。特に木材に似せるための素材選び、例えば擬木(木を似せたコンクリート)の使用や、鉄骨構造部材への表層木材貼り付けなどは避けること。

・戦跡など近代遺構があるため、その当時に似せた素材選定は、遺構保全の観点から望ましくない。特に戦跡近傍においては当時の素材との混同を防ぐため現代的な素材の利用が望ましい。特に注意を要する素材は戦跡の構造部材に似せた古材煉瓦や自然石の石積みなどである。

・主要な展望場所の縁台、ベンチ、手摺などは過ごしやすさに配慮し、可能な限り天然木を採用する。(再生木は夏季、熱くなり座りにくい、触れにくい)今回の計画地は、唐戸市場の海辺デッキに相当する重要な観光要所であるため、特に来園者が滞在して手に触れる部位は、唐戸市場と同様に天然木(南洋材や防腐処理材)などを積極的に活用し滞在時の満足度を高める。

・上記のデザインコードは、再生木の利用を妨げるものではない。利用状態、利用箇所によっては再生木の利用も可能とする。再整備する頂上の公園部においては、鉄骨構造によるスロープの床板は、軽量かつ耐久性にすぐれる再生木(グレー色)の採用を予定している。



デザインコード: 建築・工作物

建築物・工作物の考え方

- 園内に新たに計画する建築物、工作物等においても、本デザインコードにおける色や素材選定等の考え方を理解した上で、統一感のある景観整備を目指すものとする。
- 特に各施設の外観は、園内の自然や遺構、各景観要素との調和に配慮した計画とする。
- 園内の特筆すべき景観要素は、火の山に生育する照葉樹林帯、明治時代に構築された戦跡、新たに整備される展望デッキ(ヒノヤマリング)、そして山頂から見える関門海峡の眺望である。
- 以上の理解に基づいた上で、公園全体の魅力アップに寄与するような個別のデザイン要素を各施設に加えることは、各々の設計者の裁量により可能とする。



照葉樹林帯



戦跡



展望デッキ(ヒノヤマリング)



関門海峡の眺望

デザインコード:舗装

舗装の考え方

- 舗装材は園路部(線的)においては脱色アスファルト、広場部(面的)はインターロッキングブロックを基本とする。
- インターロッキングブロック舗装の素材は細長矩形ブロックを基本とし、芋目地による施工を基本とする。またブロックの色・仕上がりはグレー系ショットプラスト仕上げとする。
- インターロッキングブロックの色の違いによる張り分けは、戦跡の明示以外では実施しないものとする。できる限りシンプルで細長矩形の繊細な目地による質感を尊重した舗装デザインとする。
- 脱色アスファルトは、周辺環境に調和する土系のアースカラーとする。
- 縁石は、インターブロック部においては樹脂系エッジ材を使用する。(PC縁石は使用しない) 脱色アスファルト部は、PC縁石を基本とするが、意匠的に緑地との対比が重要な個所においては、アルミエッジなどを採用し、縁石などの要素が見えない繊細な舗装デザインも積極的に採用する。
- 荷重条件上インターロッキングブロックが難しい場所は石畳風景観舗装(半たわみ舗装のうえショットプラスト仕上げ、およびカッター目地)による意匠性の高い舗装も採用することも考えられる。
- 展望場所として特別なエリアは天然木のデッキとし、他の舗装とは上質な歩行面をつくる



A) インターロッキングブロック舗装

255mmx55mmの細長のインターロッキングブロック、細やかなモジュールを使用することで、繊細な舗装面をつくる

参考商品:日本興業(株):テセラ・エコロアクア(グレー系) 255x55



B) 脱色アスファルト

自然な土色に見えるアスファルト舗装。森の中を通る自然な小径デザインとするため可能な限りPC縁石ではなくアルミエッジを用いる。

参考商品:住友林業緑化(株):アスファルトエッジ



C) 石畳風景観舗装(半たわみ舗装:目地は芋目地)

一般的な半たわみ舗装のうえショットプラスト処理とカッター目地加工を行ったブロック舗装風の重車両対応の舗装

参考商品:大林道路(株):ハイシールなど

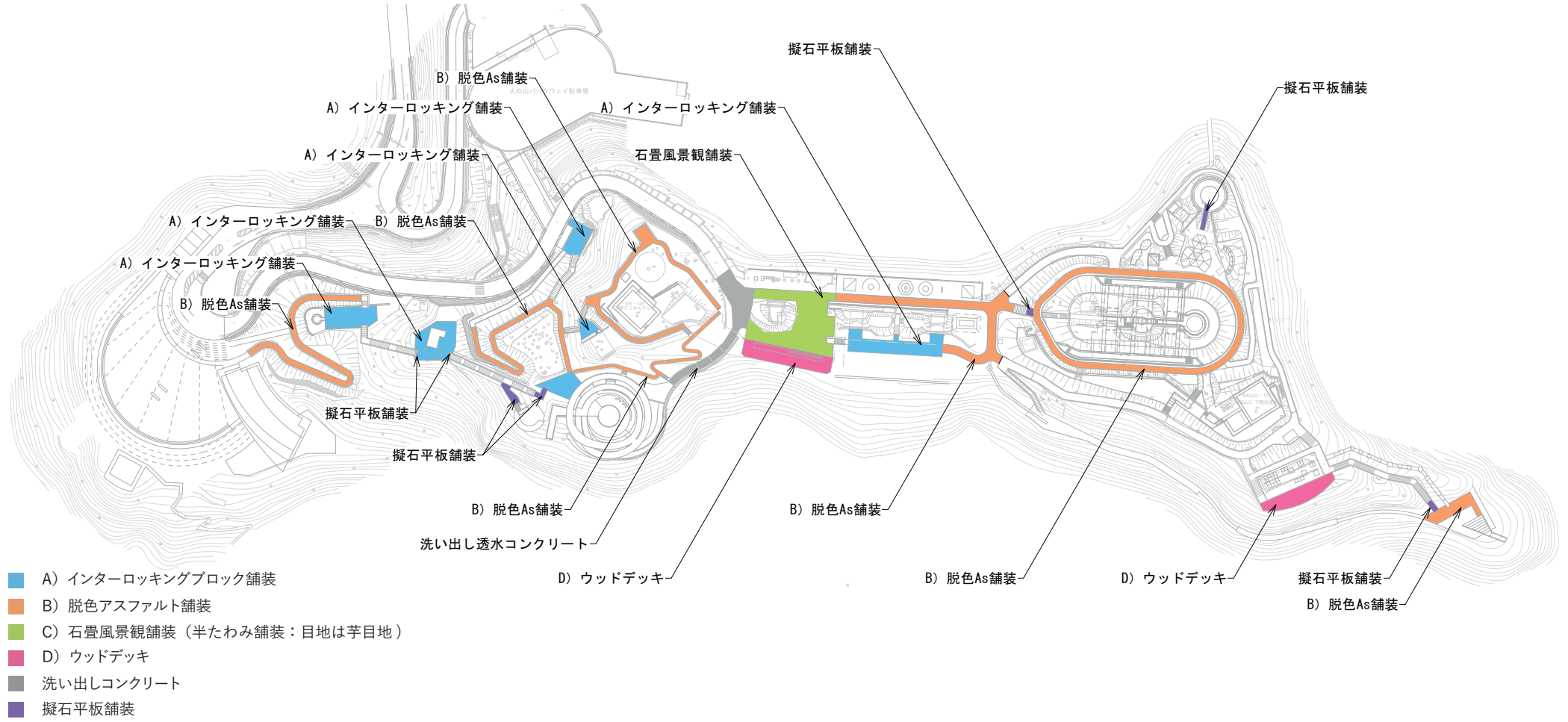


D) ウッドデッキ

観光名所として重要な展望場所は歩行感の良いウッドデッキの採用を推奨する。

参考樹種:イベ、グリーンハートなど 材寸は105x30

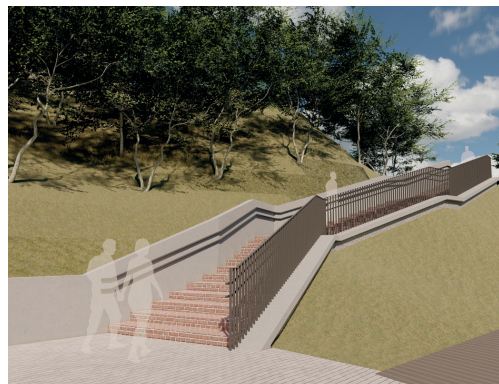
デザインコードの適用例：舗装



デザインコード：階段

階段の考え方

- 階段の踏面は施工の仕上がり、耐久性、滑りにくさを重視し、2次製品とする。
- 意匠の重要度、近傍施設とのバランス、斜面地における施工性から以下の3パターンの中から選定する。
 - A) レンガ階段
→敷地の空間デザインが切り替わるゲートのなしつらえが必要な箇所
 - B) 擬石階段(側面仕上げあり)
→意匠的に重要な部位、近傍に戦跡がある場所、周囲の緑地に溶け込ませるような意匠的配慮が必要な箇所
 - C) 擬石階段(L型部材+側面現場打ちCo側壁)
→斜面部で人力施工が予想される箇所
- 手摺は、転落防止柵が必要な箇所は柵に付属させる、柵が不要な場合はスチール製手摺(支柱がフラットバータイプ)を選定するものとする

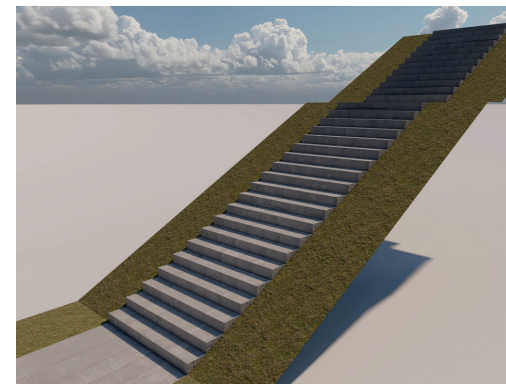


A) レンガ階段

明らかに公園の再整備で新設した煉瓦と判断できるように、新材の煉瓦を採用し、階段の踏面と蹴上をつくる

参考煉瓦商品：岡本煉瓦(株)：踏面-KR/ST1(並型)段鼻-OKV/ST1

参考目地商品：二瀬窯業(株)：ブリックモルタル



B) 擬石階段(側面仕上げあり)

白色系の擬石(ミカゲ)既製品を使用。階段の側面も意匠として見せるデザインとするため、側面もプラスト仕上下を行う。

参考商品：日本興業(株)：階段ブロックSPBタイプ(ミカゲ)



C) 擬石階段(L型部材+側面現場打ちCo側壁)

白色系の擬石(ミカゲ)既製品を使用。手作業が可能な重量のL型階段既製品とする。側面は現場打ちCoとする。

参考商品：日本興業(株)：階段ブロックSPタイプ(ミカゲ)

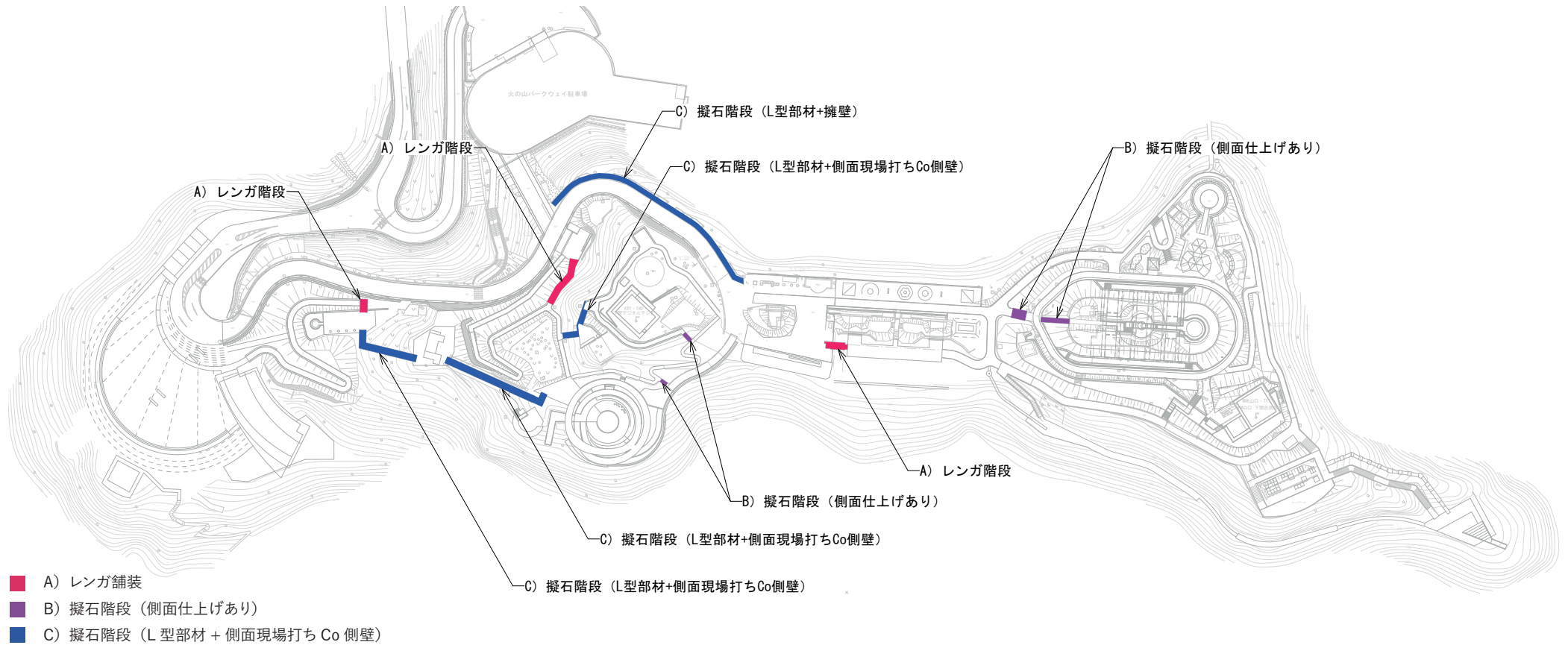


階段手摺

スリム支柱横パイプ柵と同シリーズの支柱(フラットバー)による手摺を採用し、統一感を図る

参考商品：昭和鉄鋼(株)：FN-TYPE H850 or H1100

デザインコードの適用例：階段



デザインコード:照明

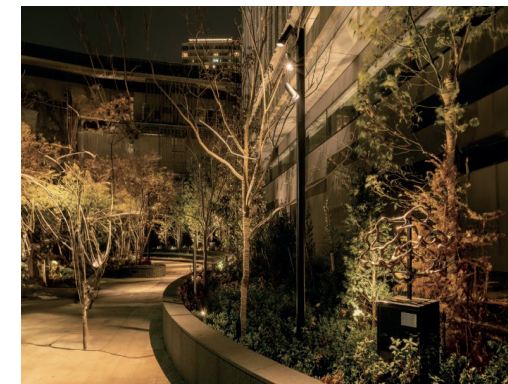
照明の考え方

- 屋外に設置する灯具は、周辺の景観に配慮した適切な照度、輝度を設定すること。特に、主たる展望台からの海峡夜景を妨げないよう考慮し照度を設定すること。
- 光の色は温かみのある電球色(2700~3000K)を採用する。
- 照明デザインはあくまでも、光り方、照らし方のデザインにとどめ、灯具本体の形状はできるだけシンプルな形状のものを採用すること。
- 灯具本体も景観を構成する要素のため、手摺、ポラードなど他のストリートファニチャーと同系統の色とする。再整備で新設される灯具、手すりおよびポラードはダークグレー系を予定している。
- グレアが生じないように灯具の高さを適切に設定すること。



演出照明

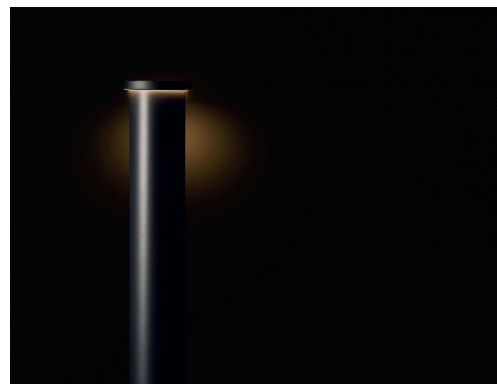
工作物の造形を生かす形で、計画された演出照明
遠方からも視認できる光のシンボルとして特徴的な夜景を作る



スポット照明

シンプルなポールの頂部にスポット照明が取り付けられており、上方から柔らかい光を照らす。

参考商品:山田照明(株):AD-3151H-L, AD-3153H-L 3000K



ポラード照明

シンプルな円筒型のポラードライ
フードによってグレアが抑えられ、やわらかい光が広がる

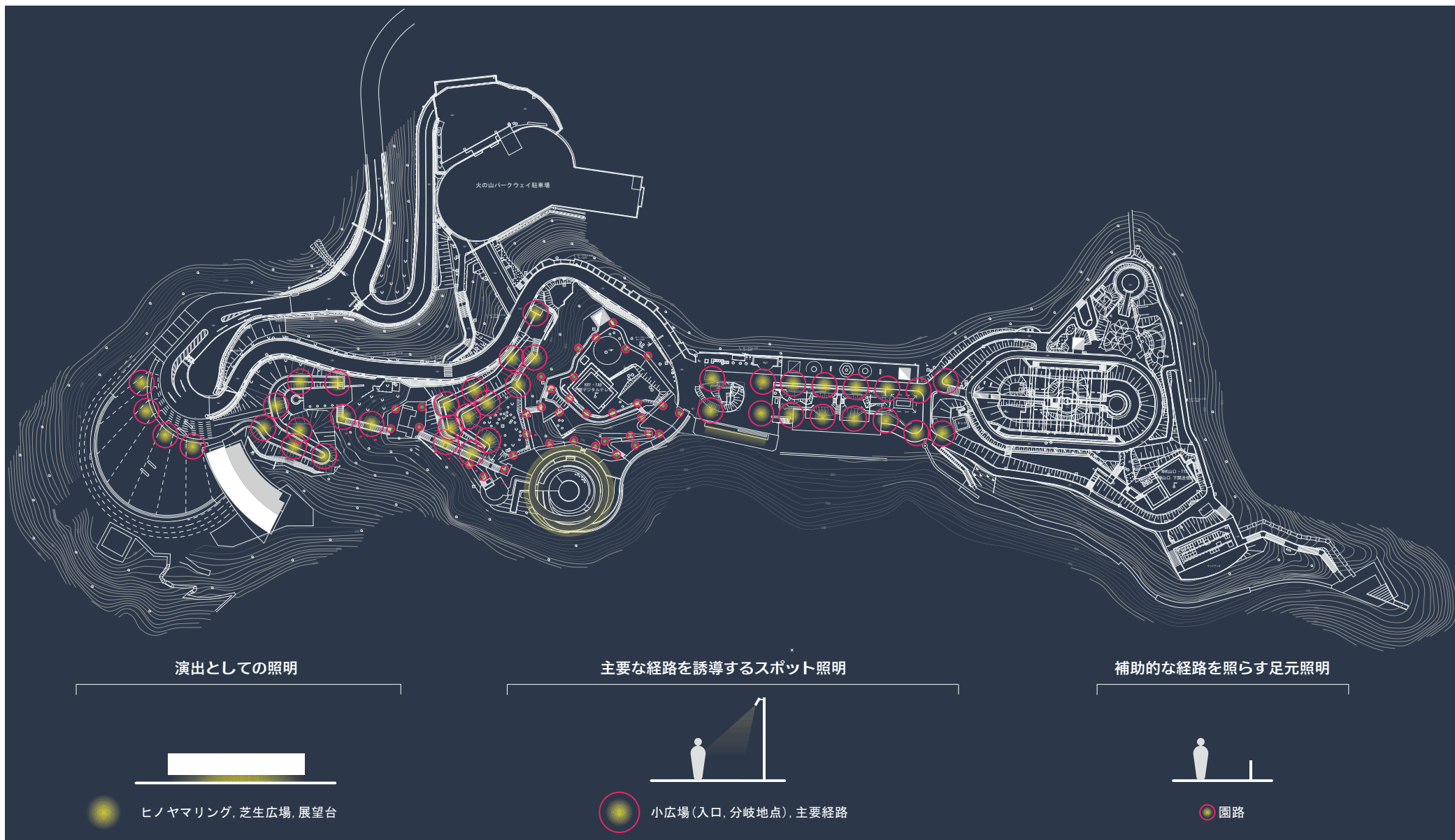
参考商品:山田照明(株):AD-3287-L or AD-3180-L 3000K



関門海峡の夜景

あくまでも関門海峡の夜景が引き立つように照明デザインを計画する
照度や輝度などバランスをとり、周辺夜景と調和した光景を作ること

デザインコードの適用例：照明



デザインコード: 柵

柵の考え方

- 眺望や経路の重要度、転落の危険度、コストバランスから以下の4パターンの中から選定する。

A) 木製笠木付き横ワイヤー柵
→重要な眺望ポイントなど眺望を妨げない透過性が求められる場所で選定

B) スリム支柱横パイプ柵(手摺)
→戦跡や重要な経路など意匠性が求められる場所で選定

C) 汎用縦パイプ柵
→斜面の頂部に位置し、転落した場合の危険性が高い場所で選定
コストパフォーマンスに優れるが意匠上重要でない場所に適用する

D) 植栽+柵
→景観上重要だが、転落防止柵を見せたくない場所、柵の前に植栽を配置
(樹種は潮風に強く、視線を通さない密な樹種であるハマヒサカキなど)

- 手摺本体の色は、周辺環境に対して目立つことのない、無彩色のダークグレー色で統一し景観を整える。



A) 木製笠木付き横ワイヤー柵

ステンレスワイヤーを使用し、見通しがよく眺望を遮らないデザイン
カウンター機能がついており、眺望を見ながらゆっくり過ごせる

参考商品:(株)風憩セコロ:ARC-SG-2011-CT H1100xW2000



B) スリム支柱横パイプ柵

垂直・水平ラインラインを基調としたシンプルでスレンダーな横断防止
及び転落防止柵、スリムな支柱により周囲の景観を引き立たせる柵

参考商品:昭和鉄鋼(株):FN-TYPE H850 or H1100

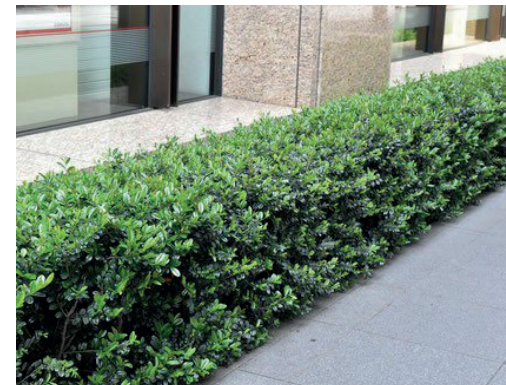
(横パイプは設置場所の危険度に応じ2本から6本の中で選定)



C) 汎用縦パイプ柵

コストパフォーマンスに優れた汎用品の柵、縦格子による安全性を重視した転落防止柵

参考商品:積水樹脂(株):フレックスロープXTC H1100(景観グレー)

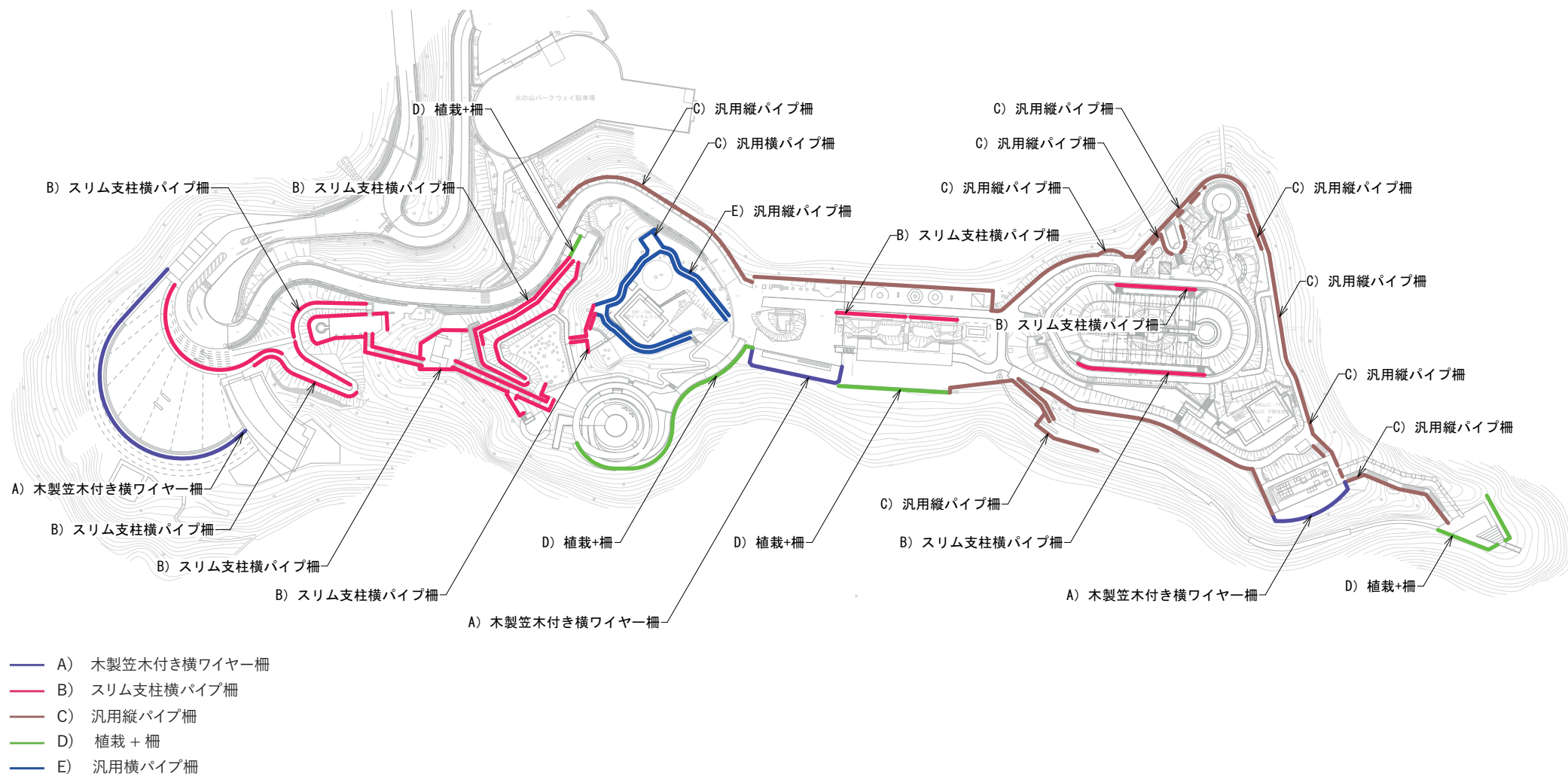


D) 植栽+柵

転落防止柵の前に植栽を施し、柵が見えないように配慮
車両防護柵など、意匠的に隠す必要がある柵の設置部位に適用

参考植栽:ハマヒサカキ 樹高は隠したい柵の高さに準じる

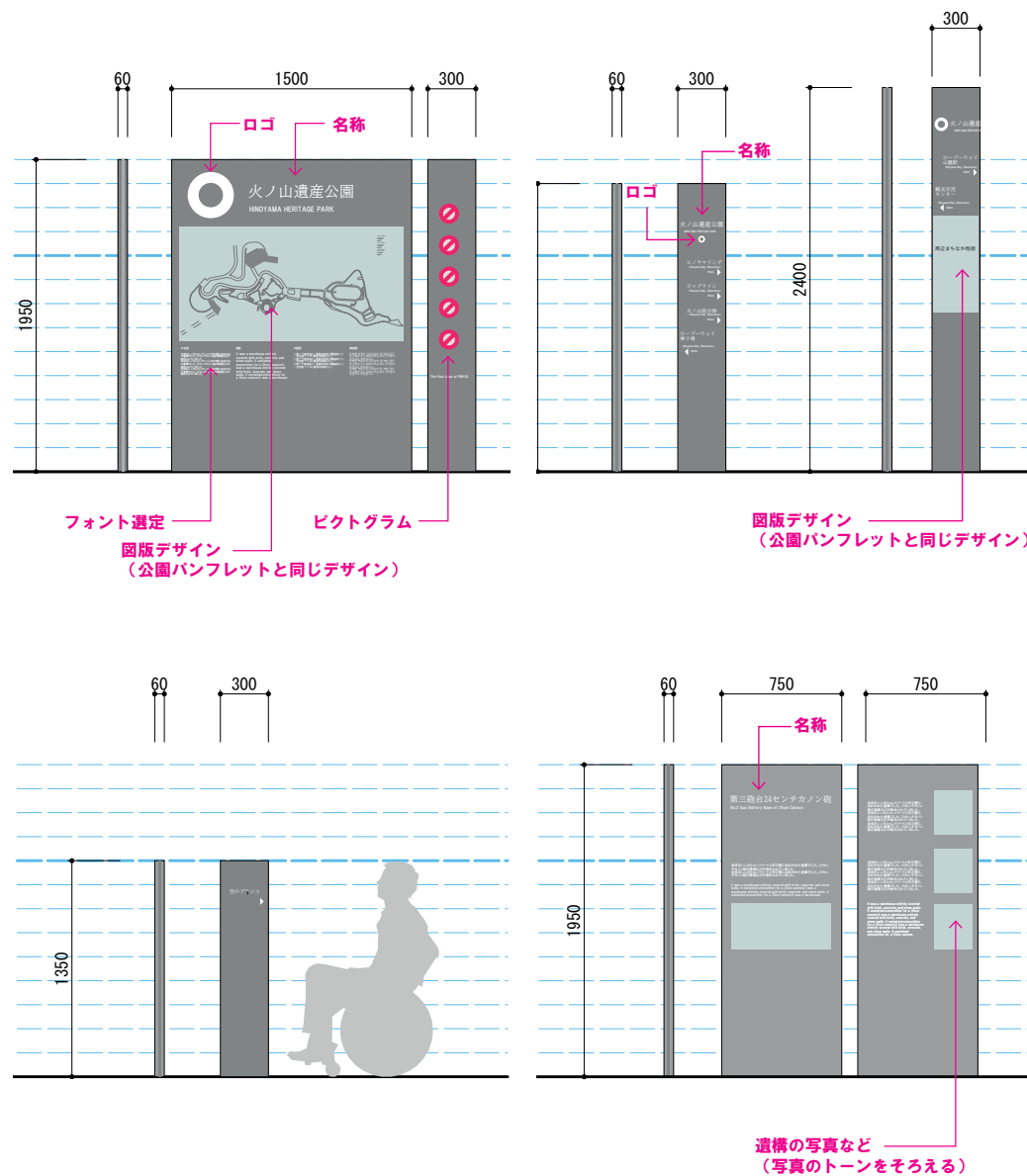
デザインコードの適用例：柵



デザインコード：サイン

サインの考え方

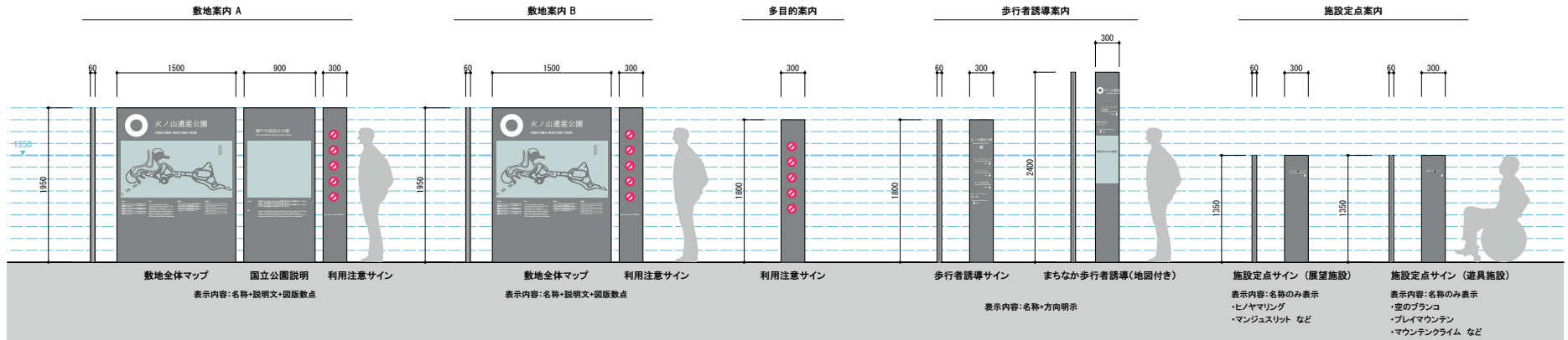
- 過度な装飾、造形は避け機能性に即した形状とする。また一定のプロポーション比率に基づいた寸法体系に基づき形状を定める。(150mmモジュールを予定)
- 掲出高さは車いす利用者と立位の利用者双方が見やすい135cmを基本として計画する。
- 次年度以降整備される公園のビジュアルアイデンティティを反映する(ロゴデザイン、カラースキーム、フォント選定、マップデザイン)
- 多言語対応は敷地案内や利用注意は4か国語、それ以外は日本語・英文とし、外国人観光客も快適に滞在できるように配慮する。
- 周辺の景観・史跡を損なうことがないよう、可能な限り大きさや厚みは小さくし存在感を控えめにする。
- 今後表示内容の変化がある可能性の場所は高耐久インクジェット印刷出力シートとし、ロゴや名称は切り文字もしくはシルク印刷を検討する。



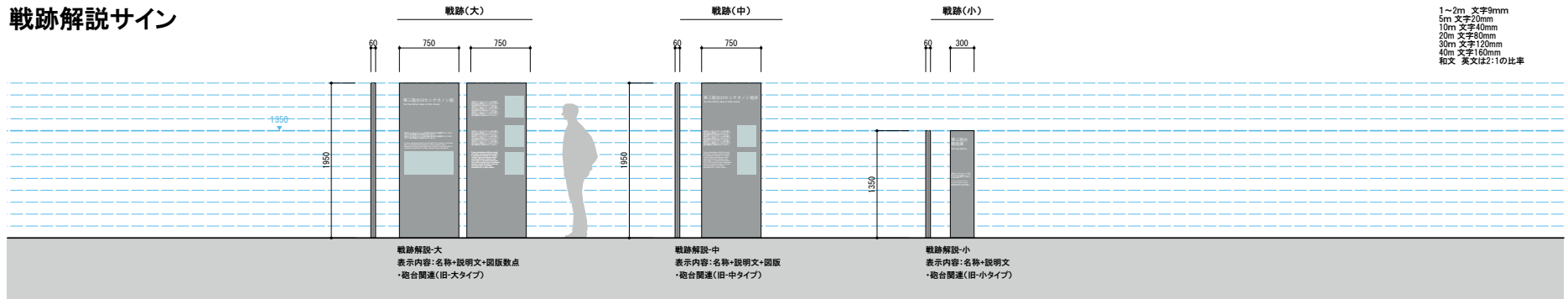
デザインコード: サイン

一定のプロポーション比率でデザインされたサインモジュール(150mmモジュール)

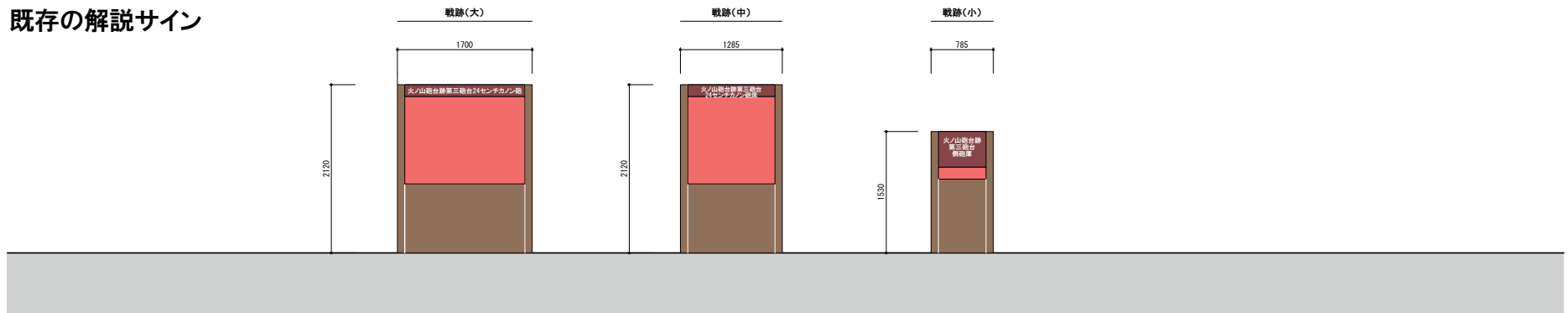
公園案内サイン



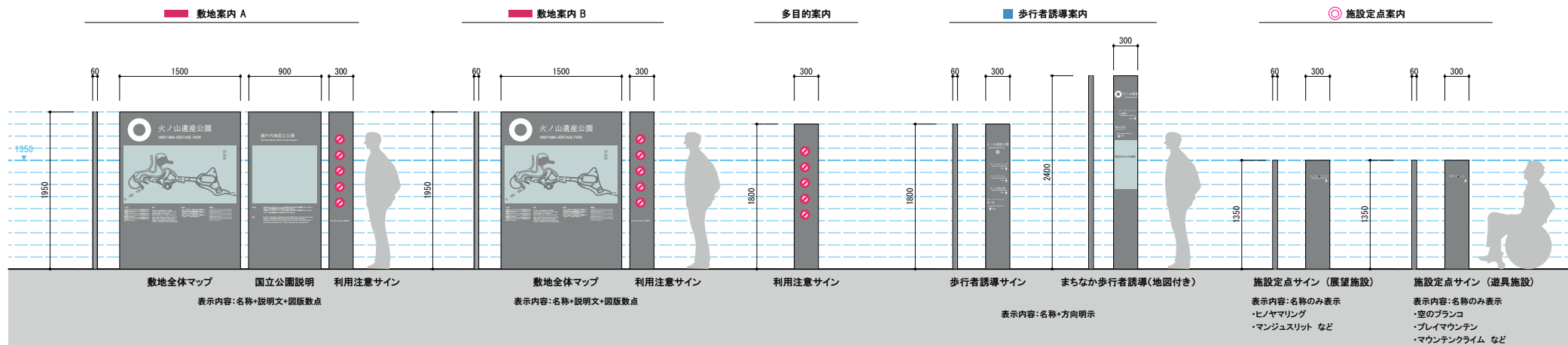
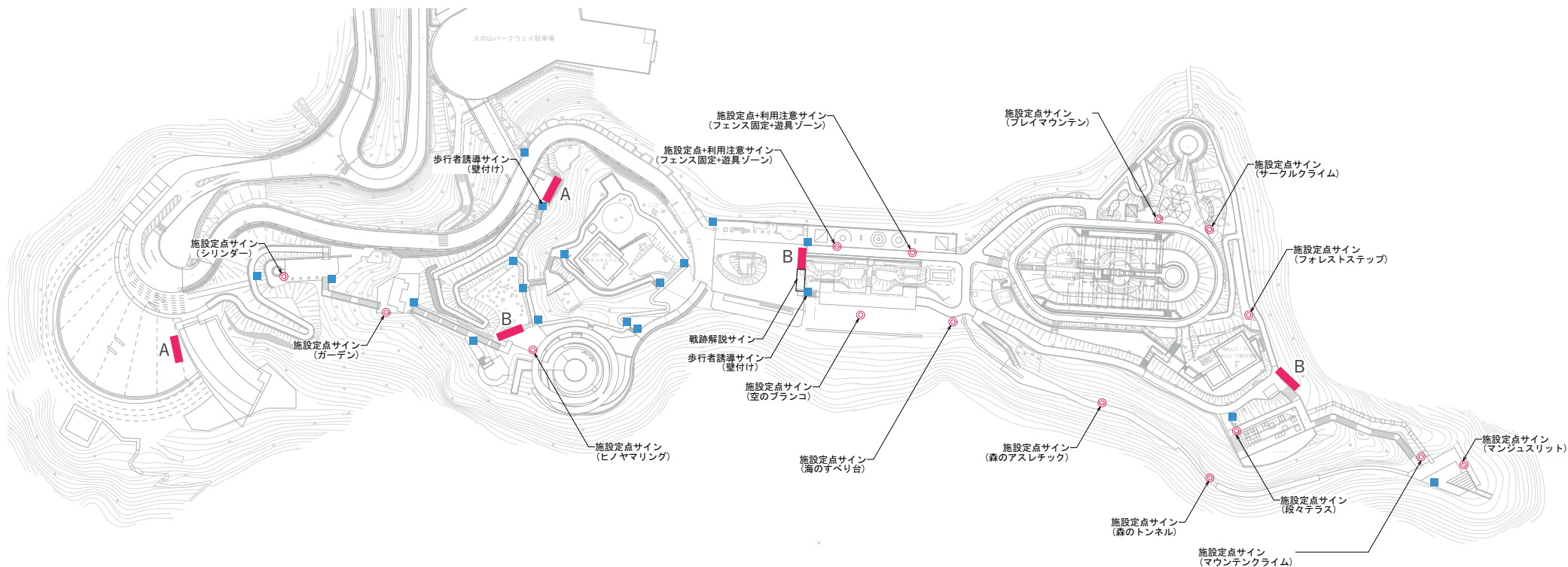
戦跡解説サイン



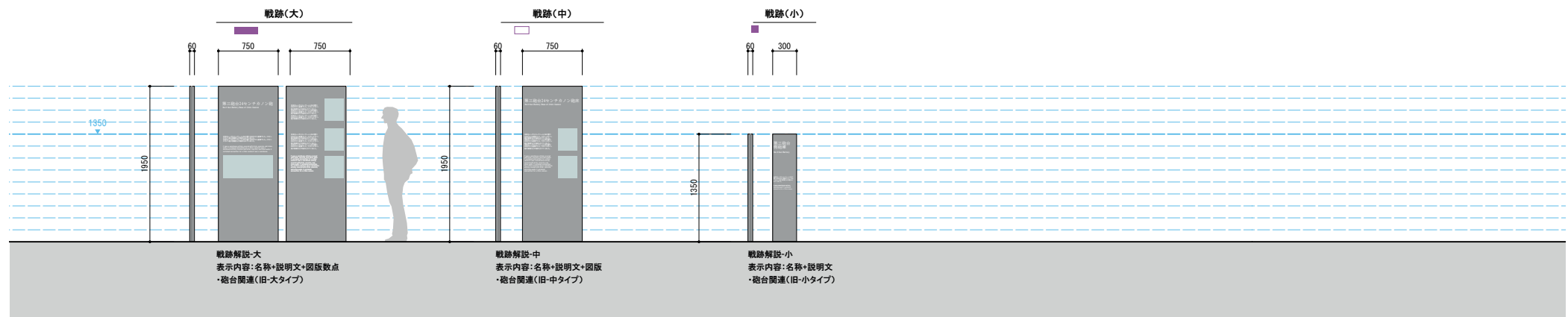
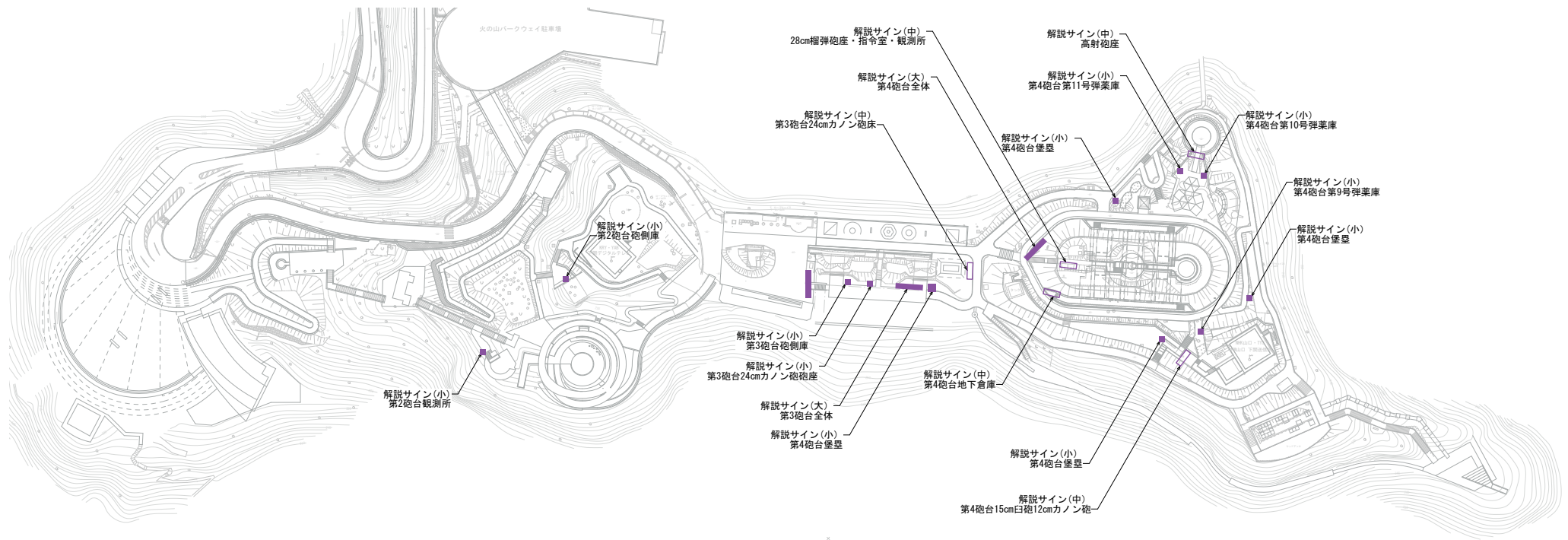
既存の解説サイン



デザインコードの適用例:サイン(案内誘導)



デザインコードの適用例:サイン(戦跡解説)



デザインコード:その他

その他(ベンチ・ポラード・自動販売機・ゴミ箱・仮設物など)の考え方

- ベンチは塩害への耐久性および座面の座りやすさからPCコンクリート製(座面は再生木)の既製品を採用する。サイン同様に過度な装飾、造形は避け機能性に即した製品とする。
- ポラードは、機能性に即した形状の製品とし、無彩色のダークグレー系とする。
- 自動販売機も公園の各場所に設置されることから、景観を重視した色彩にすることが望ましい。他のストリートファニチャー同様にダークグレー系とし公園全体にまとまりのある雰囲気をつくりだす。
- 特注塗装による自動販売機設置は高額のため、比較的安価なシート系のラッピング(約10万〜)を施すことも可能。側面などには公園のロゴや名称を掲示し全体の統一感を高める。
- ゴミ箱も他のストリートファニチャー同様に無彩色のダークグレー系とする。
- 規制や区分け、誘導を目的として公園で多く使われるカラーコーン(パイロン)などの仮設物も重要な景観要素であるため、同様にダークグレーもしくはホワイトとする。公園のロゴなどもカッティングシートによる加工も検討する。ただし工事エリアなど危険を明示する箇所においてはこの限りではない。



ベンチ

高強度繊維補強コンクリートによるスリムな形状の既製品ベンチ
座面は再生木グレーとし、台座と座面の色合いに統一感を持たせる

参考商品:日本興業(株):SOLIDベンチ 1800x450x400



ポラード

シンプルな平キャップ型の円筒型のポラード。場所に応じて上下式、固定式を選定。塗装は無彩色のダークグレー系とする。

参考商品:帝金(株):HYP-01A平キャップ φ100x850



自動販売機

グレー系のラッピングによって自動販売機の色合いを他の景観要素と揃える。公園のロゴなどを取込みさらに全体の統一感を出す事も可能

参考ラッピングの相場:約10万円〜



ゴミ箱

既製品の中で全体の景観と調和するものを選定する。塗装は無彩色のダークグレー系とする。

参考商品:(株)テラモト:ニートシリーズ